

陽射しによるダメージから肌を守るルテインの効用について

ハーバード大学が研究結果を発表

カリフォルニア州のロサンゼルスで 2002 年 5 月 15～18 日に開催された国際研究皮膚科学会年次会議(SID)で、ハーバード大学は、色の濃い葉物野菜に含まれる抗酸化物質であるルテインを摂取することによって、陽射しによるダメージから肌を守ることができると発表した。

「ルテインが目によいことは数年前から知られていますが、ルテインが UV-B 波による皮膚癌を予防する作用があることを示唆するデータは、我々のものが初めてです」と、研究班のリーダー、サルバドル・ゴンザレス医学博士は述べた。「さらに、今回のデータから、ルテインは UV-B 波による光ダメージから皮膚を守ることがわかり、全般的な皮膚の健康にとって、ルテインは重要な成分であるというわれわれの見解がいっそう裏付けられました」。

ハーバード大学医学部、マサチューセッツ総合病院およびボストン大学医学部の研究班は、2 週間にわたってヌードマウスにルテインを多く含む飼料を与えた。コントロール グループのマウスには、何も加えていない標準飼料を与えた。すべてのマウスに、22 週間にわたって週 5 日間、UV-B 波を照射した。照射後には皮膚生検を実施し、標準飼料を与えたマウスすべての皮膚に腫瘍が発生した時点で、照射を止めた。

この実験から、腫瘍が発生するまでの時間は、標準飼料を与えたマウスよりも、ルテインを与えたマウスの方が著しく長いことがわかった。しかも、ルテインを与えたマウスは、腫瘍の発生頻度も大きさも、標準飼料を与えたマウスのものを大幅に下回っていた。ほかにも、ルテインを与えたマウスは、細胞増殖が抑えられ、炎症も少なかった。

この研究に関する詳細は、SID のサイト www.sidnet.org の "Meetings" (「会議」) のタブをクリックすると見ることができます。"Click here to view abstracts" (「アブストラクト集はこちら」) をクリックして、さらに "Search" (「検索」) ボタンをクリックします。"Final ID" (「最終 ID」) を入力する画面が表示されたら、ポスター番号 767 または 769 を入力してください。

2002 年 5 月 20 日